

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	下田 敦子（民主）	川合 孝典（民主）	田中 直紀（自民）
理事	川上 義博（民主）	徳永 久志（民主）	中山 恭子（自民）
理事	白 眞勲（民主）	広田 一（民主）	松山 政司（自民）
理事	山谷 えり子（自民）	藤田 幸久（民主）	魚住 裕一郎（公明）
理事	山本 一太（自民）	水戸 将史（民主）	風間 昶（公明）
	加賀谷 健（民主）	衛藤 晟一（自民）	山下 芳生（共産）
	風間 直樹（民主）	関口 昌一（自民）	

（20.9.29 現在）

（1）審議概観

第170回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

拉致問題については麻生内閣においても、すべての拉致被害者の一刻も早い帰国の実現を図ることとされた。10月11日、米国は北朝鮮の核計画の検証措置について合意が得られたとして、北朝鮮のテロ支援国家指定解除を発表した。10月15日、拉致問題対策本部

第2回会合が開催され、拉致問題における今後の対応方針が再確認された。

12月12日、北朝鮮をめぐる最近の状況について中曽根外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について河村国務大臣からそれぞれ報告を聴いた後、拉致被害者の安否情報、六者会合と北朝鮮の核計画の検証、日朝実務者協議、オバマ米次期政権の北朝鮮政策、日朝交渉等について質疑を行った。

（2）委員会経過

○平成20年9月29日（月）（第1回）

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成20年12月12日（金）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件及び拉致問題をめぐる現状に関する件について中曽根外務大臣及び河村国務大臣からそれぞれ報告を聴いた後、拉致被害者の安否情報に関する件、六者会合と北朝鮮の核計画の検証に関する件、日朝実務者協議に関する件、オバマ米次期政権の北朝鮮政策に関する件、日朝交渉に関する件等について河村国務大臣、中曽根外務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川上義博君（民主）、風間直樹君（民主）、山下芳生君（共産）

○平成20年12月24日（水）（第3回）

- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。